

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都ノートルダム女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトノートルダムジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107582
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	短期インターンシップ
	学部・研究科等名	国際言語文化学部、現代人間学部
	担当教職員名・役職	濱中 倫秀:准教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	9
	受入企業等数	6
	受入企業等名	(株)ユニティー・ワン、(株)平和堂、(株)マツシマホールディングス、社会福祉法人修光学園、社会福祉法人南山城学園、(公財)東近江市地域振興事業団、
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	実習先企業・団体の社員・職員の業務補助 店舗での接客実習、営業同行、官公庁への訪問同行 課題解決型のワークショップ、実習先企業・団体が抱える課題についての提案策定、プレゼンテーション等を実施
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 5.当該キャリア形成支援活動は、選択必修科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	「短期インターンシップ」は、1・2年次を対象に、夏期休業期間中の5日間の就業体験を行う科目「短期インターンシップ」として実施している。本科目は、全学の「共通教育科目」のうち「ライフキャリア形成科目」に位置付けられている。 科目の教育目標は、以下のとおりである。 ・就業体験を通して、早期に自己の職業適性や将来設計について考えるきっかけとする。 ・その上でコミュニケーション能力や主体的に行動することの重要性を学び、身につける。 ・さらには、事後研修を通して明確なキャリアビジョンの確立及び学習意欲を喚起し、主体的に学ぶ学生生活ができるようになる。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	学生に対し、インターンシップの概要、心構え、実習先でのマナー、事前・事後課題等について説明を行っている。インターンシップでは、目的意識を明確にして取り組むことの重要性を強調し、学生には事前に目標を設定させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	学生は、実習を振り返り、実習の成果をレポート課題として提出する。また、インターンシップを通じて得た成果をまとめ、インターンシップの経験をその後の生活でどう活かすか行動計画の立案し、これらの内容を成果発表会で発表する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	実習中に実習先企業・団体へ訪問を行い、実習生と実習先企業・団体へ双方へ学生の様子をヒアリングを実施する。また実習日誌の記録を確認し、問題等があればヒアリングの上、学生への指導や実習先への申し入れを行うこととしている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業にも評価していただいている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	学生は実習中の日誌に、目標に対する評価や日々の学びを記録し、実習先の担当者から、アドバイスをいただいている。また全日程終了後には総評として、担当者から学生に対し、期間を通じた評価・フィードバックをいただいている。さらに、学生は実習での成果をまとめた発表を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	各派遣先企業・団体において、5日間の就業体験を行う。事前・事後学習は大学にて実施する。

項目	確認事項	届出内容
要素 ⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習内容について事前に実習先と打合せを行いインターンシップの実施目的や意義を理解いただいた上で、受入れていただいている。また、実習に参加した学生の評価について、実習先からは数値での評価のほか講評も併せて提出いただき、学生へのフィードバックを行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問 い 合 わ せ 先	大学等名	京都ノートルダム女子大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-706-3744
	メールアドレス	shushoku@ml.notredame.ac.jp